

2008 年度

科目名	対象学科・学年 人間人社1回生	担当者
心理学 B		中尾 将大
授業テーマ 科学としての心理学のあり方を概観し、心理学を通して人間の理解を深める。		
授業の概要と目標 心理学の成り立ちについて歴史的背景を交えて紹介する。「心理学は行動の科学である」との観点に立ち、ヒトを含む生活体の行動の変化から精神活動を理解していく。また、心理学は日常生活と密接に関わる学問領域である。学生諸君にはこの授業で紹介する「行動の原理」を実際の生活の中で役立てて欲しい。さらに人間の理解が深まると思う。		
評価方法 出席点、学期末テストおよびレポートによる総合評価		
テキスト 授業内容に合わせてプリントを配布	著者	出版社
参考書 学習の心理学 健康心理学	著者 今田寛 島井哲志	出版社 培風館 培風館
授業スケジュール・内容		
1. オリエンテーション	ー授業と講義予定の説明ー	
2. 哲学から心理学へ		
3. 実験心理学の始まり	ーヴントの心理学ー	
4. 行動主義心理学	ーワトソンの心理学ー	
5. 新行動主義心理学	ーワトソンの後継者たちー	
6. S-O-R から生理心理学へ	ー偉大なるワトソン先生に敬意を払いつつー	
7. 医科学分野と結びついたモデル研究		
8. 学習性絶望	ーセリックマンの主張ー	
9. 行動療法（1）基礎		
10. 行動療法（2）リラクゼーション		
11. 行動療法（3）回避理論に基づく治療の事例		
12. 行動教育法		
13. 健康心理学（1）Well-being の考え		
14. 健康心理学（2）生活習慣と健康		
15. まとめと試験		